

# 青少年育成センターだより

第165号 2023. 8. 15

防府市教育委員会生涯学習課

青少年育成センター



0835-23-3013



今は、子どもたちは夏休み真っ盛りです。

今年の夏は、コロナも収まり3年ぶりに夏を満喫できるようになりました。夏休みを利用して、旅行や海、山に出かけられる家族も多いのではないのでしょうか。泳いでみせたり、テントを張ってみせたり、薪へ火を付けてみせたり、大きな魚を釣ってみせたりする等、親にとって子ども前で自慢できることも多いのではないのでしょうか。夏休みは、子どもに親の頼もしさを教える機会がたくさんあります。お父さん、お母さん頑張ってください。夏休みは、少し仕事のことは忘れて子どもに関わってやりましょう。

夏休みの期間は、子どもにとっていろいろな体験をするチャンスですが、1学期の復習をしたりして学力をつける大切な時間でもあります。サマーワーク、日記帳、読書感想文、自由研究等、学校から課題が示されていることでしょう。早めに手を付けて済ませる子どももいますが、なかなか手を付けずに2学期の始業式の前日までバタバタとするタイプの子もいることでしょう。夏休みは、計画的に課題を済ますことのできる子どもに育てるいい機会でもあるのです。

## どうして勉強しなければならないの？

「どうして勉強しなければならないの？」と子どもから聞かれたら、皆さんはどのように答えられるのでしょうか。

「勉強をして、いい学校に入って、いいところに就職して、あなたが幸せになるために勉強が必要なのよ」などと答えられるのでしょうか。いい学校とはどういう学校でしょうか、いいところに就職ってどんな就職先でしょうか。それで本当に幸せになれるのでしょうか。子どもに“どうして勉強をしなければならないの？”と聞かれたときにきちんと答えることって難しいですね。どんな答え方をしたらいいのか考えてみましょう。

これまで何度も紹介した“瀬戸内寂聴さん”の答えを聞いてみましょう。

人間は勉強しないと成長しないからです。勉強というのは、自分の可能性を発見することなんです。まだ、自分の中にどんな可能性があるのか、わからないでしょう。勉強することによって、自分の可能性に気が付きます。たとえば、人ができない算数の問題を自分は解けた。そうすると、自分は算数の才能があるんだなって、それは可能性ですよ。小説を読んで、人より理解できる、喜びを感じる。そうすると、自分は文学的才能もあるのかなど。自分の中に眠っている可能性を知るために勉強は必要なのです。

「生きることは愛すること」 瀬戸内寂聴 講談社文庫

人生経験の豊富な寂聴さんから、素晴らしい答えを教えてもらえたように思います。

寂聴さんは、「自分の可能性を発見し、成長するために勉強をしなくてはならない」と言っておられます。私が答えるとしたら、「勉強して知識が増え、そのことにより可能性が広がり、人生が豊かになるのだ」と答えます。

みなさんが、子どもに聞かれたときには、どのように答えられますか。聞かれても困らないように子どもの成長段階に合わせた答えを考えておきましょう。

文責＝青少年育成センター指導員 藤村